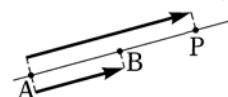


三角形の場合

★知識の整理★

【1】一直線上にある3点

3点A, B, Pが一直線上にあることは、2つのベクトル \overrightarrow{AB} と \overrightarrow{AP} が平行であることと同じであるから、次のことがいえる。

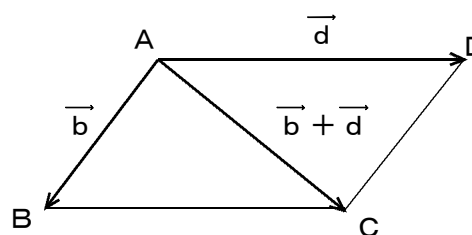


▼ 一直線上にある3点 (共線条件) ▼

2点A, Bが異なるとき,
点Pが直線AB上にある $\iff \overrightarrow{AP} = k \overrightarrow{AB}$ となる実数kがある。

【2】3点が一直線上にあることの証明の方法

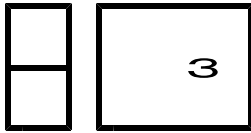
- ・ 三角形や平行四辺形などの図形がある場合は、1つの頂点 (どの頂点でもよい) を基点とした位置ベクトルを考える。
- ・ また、基点とした頂点を含む2辺上のベクトル
- ・ \overrightarrow{b} , \overrightarrow{d} などとおき、この2つのベクトルを用いて他のベクトルを表す。



例えば…

平行四辺形ABCDで、点Aを基点とすると、

$\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{b}$, $\overrightarrow{AD} = \overrightarrow{d}$ とすると、 $\overrightarrow{AB} + \overrightarrow{AD} = \overrightarrow{AC}$ だから、 $\overrightarrow{AC} = \overrightarrow{b} + \overrightarrow{d}$ と表せる。



第2章 平面上のベクトル 2・ベクトルと図形

2 位置ベクトルと図形 (その2)

(2/5) ■ 一直線上にある3点① ■

◇ 《一直線上にある3点/三角形》 **学力化** → /

★解法の技術★

△ABCにおいて、辺ABを1:2に内分する点をP、辺ACの中点をQ、辺BCを2:1に外分する点をRとする。このとき、3点P、Q、Rは一直線上にあることを証明しなさい。

【考え方】点Aを基点とする位置ベクトルで考える。

3点P、Q、Rが一直線上にあることを証明するには、 $\overrightarrow{PR} = k \overrightarrow{PQ}$ となる実数kがあることを示せばよい。

$\overrightarrow{AB} = \vec{b}$ 、 $\overrightarrow{AC} = \vec{c}$ とし、 \overrightarrow{PQ} と \overrightarrow{PR} を \vec{b} と \vec{c} を用いて表す。

【考える手順】

① 位置ベクトルを定義する

② \overrightarrow{PQ} と \overrightarrow{PR} を位置ベクトルの \vec{b} と \vec{c} で表す

③ $\overrightarrow{PR} = k \overrightarrow{PQ}$ を示す

【答 案】

$\overrightarrow{AB} = \vec{b}$ 、 $\overrightarrow{AC} = \vec{c}$ とする。

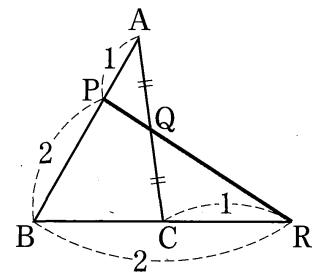
・点PはABを1:2に内分し、点QはACの中点だから、

$$\begin{aligned} \overrightarrow{PQ} &= \overrightarrow{AQ} - \overrightarrow{AP} && \leftarrow \overrightarrow{PQ} \text{ を点Aを基点とするベクトルで表す。} \\ &= \frac{1}{2} \vec{c} - \frac{1}{3} \vec{b} = \frac{1}{6} (3\vec{c} - 2\vec{b}) \quad \dots \textcircled{1} && \leftarrow \text{【計算1】} \end{aligned}$$

・点RはBCを2:1に外分する点だから、

$$\begin{aligned} \overrightarrow{PR} &= \overrightarrow{AR} - \overrightarrow{AP} && \leftarrow \overrightarrow{PR} \text{ を点Aを基点とするベクトルで表す。} \\ &= \frac{-\vec{b} + 2\vec{c}}{2-1} - \frac{1}{3} \vec{b} = \frac{2}{3} (3\vec{c} - 2\vec{b}) \quad \dots \textcircled{2} && \leftarrow \text{【計算2】} \end{aligned}$$

①と②より、 $\overrightarrow{PR} = 4 \overrightarrow{PQ}$ ◀【注】
よって、
3点P、Q、Rは一直線上にある。



【注】 \overrightarrow{PR} は、 \overrightarrow{PQ} の何倍かを調べる。

◀ \overrightarrow{PQ} をもとにする。

$$\overrightarrow{PR} \div \overrightarrow{PQ} = \frac{2}{3} (3\vec{c} - 2\vec{b}) \div \frac{1}{6} (3\vec{c} - 2\vec{b}) = \frac{2}{3} \div \frac{1}{6} = 4$$

【計算1】 $\frac{3\vec{c} - 2\vec{b}}{6} = \frac{1}{6} (3\vec{c} - 2\vec{b})$

【計算2】 $\frac{-3\vec{b} + 6\vec{c} - \vec{b}}{3} = \frac{-4\vec{b} + 6\vec{c}}{3} = \frac{2}{3} (3\vec{c} - 2\vec{b})$